

ネットワークポリマー 第38巻 (2017)

総目次

報 文

- ター (Ter) フェニル構造を有する新規多官能エポキシ樹脂の合成と評価
佐藤 泰・高橋 歩……………(74)
- ϵ -カプロラクタムとエポキシ樹脂類の熱硬化反応と得られた架橋硬化物の性質
歩谷 健太郎・工藤 宏人……………(81)
- 両親媒性環状分子を用いた超分子ゲルの形成
備後 翔太・角田 貴洋・生越 友樹・
山岸 忠明……………(86)
- 炭素繊維強化アクリル樹脂複合材料のイオン架橋
桑城 志帆・中尾 臨・松田 聡・
岸 肇……………(114)
- 生物模倣多層構造の導入による高韌生修復材料の開発
吉田 祥麻・財前 穂波・江島 広貴・
吉江 尚子……………(122)
- ビスマレイミド添加によるフェノキシ樹脂の高耐熱化
武田 新太郎・天羽 悟・小林 稔幸・
荒谷 康太郎……………(128)
- 分子動力学シミュレーションによるフェノール樹脂の架橋構造モデリングと構造の解説
首藤 靖幸・和泉 篤士・萩田 克美・
中尾 俊夫・柴山 充弘……………(136)
- 有機強塩基を発生するアセト酢酸塩型光塩基発生剤の合成およびチオール-エポキシ混合樹脂のアニオンUV硬化への応用
有光 晃二・柳 正義・古谷 昌大……………(158)
- アリールメチルピリジニウムテトラキス (ペンタフルオロフェニル) ボラート塩類の合成とカチオン型の熱潜在性エポキシ樹脂硬化剤として応用
松本 幸三・玉川 純也・遠藤 剛……………(166)
- ビスフェノール A とホルムアルデヒドを用いたノボラック樹脂の合成と性質：ビスフェノール類に着眼した柔軟性を持つフォトレジスト材の開発
山崎 博人・西村 利康・山崎 椋太・
江口 まり音……………(173)
- 高分子量クレゾールノボラック樹脂の合成と物性
増田 克之・坂井 絵厘・波江野 滋・
平田 知広……………(184)
- 重合促進剤としてトリフラート金属塩を用いたベンゾオキサジンの開環重合挙動
疇地 基央・尾家 浩章・金得 雷一・
南 昌樹・松本 幸三・遠藤 剛……………(204)
- フィチン酸とポリアミン類のポリイオンコンプレックス形成に基づくネットワーク構造の形成
須藤 篤・長谷川 初美・村永 純……………(212)
- 光・熱デュアル硬化したスクリーン印刷用受容層ポリマーの接着特性評価Ⅱ
岡村 晴之・仙波 諒介・松本 章一……………(219)
- 粗視化分子動力学シミュレーションによるフェノール樹脂架橋ネットワーク構造のモデリングと応力歪解析
和泉 篤士・首藤 靖幸・萩田 克美・
柴山 充弘……………(226)

可逆的ゾル-ゲル転移をする光学活性アミド基含有ポリフェニレンエチレンの合成

小川 達也・曾谷 太一・宮城 雄・
三田 文雄……………(242)

ベンゾオキサジン変性草本系リグニンによるフェノール樹脂の高性能化

木村 肇・大塚 恵子・米川 盛生・
松本 明弘……………(250)

プロパルギルオキシ基を有する新規ベンゾオキサジンの合成とその硬化物の熱分解性の検証

有田 和郎・下野 智弘・大津 理人・
山口 純司・鈴木 悦子・小林 美佐江……………(259)

C-メチルカリックス [4] レゾルシンアレーンの化学修飾によるエポキシ樹脂用高耐熱硬化剤の開発

中村 真也・工藤 宏人・西久保 忠臣……………(270)

総 説

リビングラジカル重合の進展

藤田 健弘・山子 茂……………(4)

アニオン重合, ならびにその工業用途への適用

但木 稔弘……………(14)

カチオン重合

青島 貞人・金澤 有紘・金岡 鐘局……………(21)

開環重合

遠藤 剛・須藤 篤……………(29)

大員環形成に伴う閉環(環化)重合

村松 吉将・落合 文吾……………(39)

遷移金属錯体触媒によるオレフィンの重合

竹内 大介・小坂田 耕太郎……………(46)

ヘテロ元素の特性を活かした新奇有機-無機ハイブリッド共役系高分子の合成と機能

井本 裕顕・田中 進・中 建介……………(51)

重付加-ポリウレタン合成を中心として

古川 睦久……………(59)

エポキシモノリスを用いる異種材料接合

松本 章一……………(93)

ビスマレイミド系高耐熱性樹脂の材料設計

大塚 恵子……………(144)

電子材料向け熱硬化性樹脂の開発動向(英文)

大野 大典……………(277)

解 説

光二量化により粘弾性を変化できる ABA トリブロックコポリマーを基盤とした動的ハイドロゲルの創製と三次元細胞培養への応用

玉手 亮多・上木 岳士・北沢 侑造・
葛貫 森信・渡邊 正義・秋本 文・
吉田 亮……………(103)

新規イソシアヌル酸骨格エポキシ樹脂の開発動向

田中 明博……………(192)

総合論文

正多角柱分子ピラー[n]アレーンを基にした超分子ネットワーク構造の形成

角田 貴洋・山岸 忠明・生越 友樹……………(232)

若手研究者の目

大学研究で学んだこと, 企業研究で心がけていること
喜多村 慎也……………(67)

持続可能な循環型社会への適応を目指した高分子材料 の開発 吉田 嘉晃……………(110)	ネットワークポリマーを支え、役に立つ高分子合成－ 基礎と応用－ 遠藤 剛……………(2)
製品開発に携わっていく中で 安藤 純一朗……………(153)	ネットワークポリマーにさらなる信頼性を 岸 肇……………(73)
「動き」のある高分子材料 玉手 亮多……………(199)	見えないものをみる 松本 章一……………(113)
「ネットワークポリマーの研究者」として 米川 盛生……………(238)	基礎は役に立つ 長谷川 喜一……………(157)
研究開発における喜びと学び 石井 昌美……………(285)	イノベーションのジレンマ 篠谷 賢一……………(203)
	高分子の教科書における熱硬化性樹脂 大山 俊幸……………(241)
巻頭言	
ネットワークポリマーに期待すること 中西 義之……………(1)	